

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ストリートスポーツ以外の私の活動



おおしま まこと
大島 実 隊員 43歳 東京都から移住



田植えの手伝いin笠間。爽やかな一日でした

地域おこし協力隊の大島です。笠間市に移住して、ストリートスポーツの普及をメインに笠間の自然、魅力を伝える活動をしています。

私が笠間に移住したのは、笠間芸術の森公園内に昨年4月にオープンしたスケートパーク「ムラサキパークかさま」をメインとしたBMXを通じたまちおこしが一番の理由ですが、田舎暮らし、自然の中の生活、自給自足も目標の一つです。

5月にBMXを始めた家族にお招きいただき、田植え体験をさせていただきました。

機械で植えていくのですが、軽トラに苗を積んで運んだり、機械に苗を補充したりしました。綺麗な沢の水が入る三段ほどの棚田で、おいしいお米が取れるそうです。今から楽しみです。

山の谷間にある田んぼのため、形が四角では無く、機械で植えるのにもテクニックが必要です。隅の部分は手作業で植えます。最後は、動物が入らないように電気柵で田んぼを囲います。笠間の皆さんには馴染みの光景だと思いますが、実際にやってみると楽しいです。都会の人にとっては貴重な体験になるでしょう。

初夏の気候が東京に比べて爽やかな笠間で、気持ちの良い日々を送っています。

自分で食べるものを自分で作れることはすばらしいと思います、自分でも野菜作りをしています。

東京でも「畑の学校」というプログラムを受講したことがあり、畑を借りて作物の栽培方法を学びました。

私は、このような都市部にはない魅力を自ら体験し、そのすばらしさも伝えていきたいと思っています。ストリートスポーツだけに活動を限定せず、広い視野を持って活動していきたいです。

BMXを通じて新たな知人が増え、私の活動も広がっています。



BMXでは、自分の夢だったプロジェクトに進進中です！



近所のお気に入りスポット



東京の「畑の学校」での講習の様子

「BMX・スケートボード×自然に寄りそう暮らし」が今後の活動のメインテーマです。

笠間は盆地のため夏は暑くて冬は寒い気候ですが、それも醍醐味です。日々、山や畑、空の景色、雨、雪、季節を感じて暮らしています。



フェイスブックもご覧ください

問 企業誘致・移住推進課(内線592)